

平成 28 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	広島市立落合小学校		
学校長氏名	宮原 弥生	栄養教諭氏名	枝廣 直美
職員数	33名	児童・生徒数	415名

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

- ・給食の残食も年々減少してきているが、個別に見ていくと少食であったり、偏食がひどかったりと課題のある児童もいる。また、各家庭や保護者により食に関する興味や関心にかかなりの差があり、朝食の内容などを見ると、栄養バランスの心配な児童も多い。

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

- ・健康，食に関心をもち，自ら積極的に実践できる力を育てるため，家庭地域を巻き込んだ「食」への関心を高める積極的な取り組みの充実をさせることを目標とした。具体的な方策として，「おむすびデー」「お弁当の日」などを計画的系統的な取組として行い，給食の平均残食量を少なくすることを成果指標として設定している。

3 食育の目標に対する具体的な取組**【取組1】（テーマ）家庭を巻き込んだ食の実践力を育む「おむすびデー」の取組について**

- ・健康，食に関心をもち，実践できる力を育てるため「おむすびデー」を給食週間中に設定した。自分でおむすびを作って学校に持参し，統一献立を中止しての落合小独自献立と一緒に「おむすび」を食べる。

【取組2】（テーマ）家庭を巻き込んだ食への関心を深める「お弁当の日」の取組について

- ・運動会の予備日（給食を中止している日）を使い，お弁当のおかずレシピを配り，お弁当作りのお手伝いを促す取組。5つのコース（ありがとうコース・にぎにぎコース・つめつめコース・おかずコース・腕自慢コース）の中からどのコースを選ぶか家族で相談して，お手伝いにチャレンジする。

【取組3】（テーマ）家庭を巻き込んだ食文化の継承にむけたおはしの指導

- ・食への関心を高め，食文化の継承や食事マナーの向上のための取組の一つとして，年間を通しておはしの指導を行う。具体的には1年の特別活動「おはし名人になろう」の授業，給食時間の各教室での指導，「なかよしオリエンリング」での大豆運びゲーム，冬休みの宿題として「おはしレッスンカード」の記入，給食週間中には「おはし検定会」を行い，参加者全員に記録証も配った。

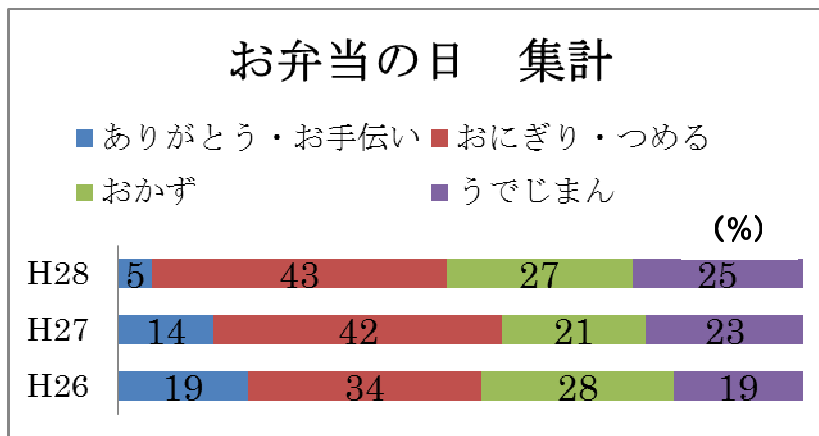
4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

- ・スーパーマーケットではポスターの掲示やレシピの配布を行う。また、ひろしま給食実施の当日は保護者対象の試食会を行い、児童には給食時間に献立や食材を紹介したプレゼンを作成し放送する。指導している料理クラブの実習中に、ひろしま給食のレシピを試食した。



5 取組に対する成果と課題

【成果】



- ・3年目をむかえ、お手伝いのみの比率が19%から5%減少し、調理に係るお手伝いや全部作る児童の比率は増加している。このことから、家庭での食への関心が少しずつ高まってきているように思える。また、給食の残食を見るとおかずがH28.4月からH29.2月までの平均残食率が0.4%となり目標（1.0%未満）を下回る状況となっている。

【課題】

- ・学校全体の残食は減少してきているが、極端な偏食の児童はまだまだ見られる。
- ・正しいはしの持ち方に関心を持ち、家庭でも練習することで、正しくはしを持てるようになった児童もあれば、はしに興味をもてず改善しない児童も多い。

6 今後の取組に向けた改善方策について

- ・家庭を巻き込んだ食に関心をもたせる取組が、今後は少しずつでも家庭での食事内容の改善へもつながるよう取り組んでいく。食に関心をもてない家庭には、子ども自身に食の実践力が身につくよう働きかけたい。